

2014 年度活動報告

定例研究会覚書

2014/04/12

小松昭英（記）

日時 2014/04/12

場所 キャンパスイノベーションセンター 612 号室 静岡大学東京事務所

参加者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、吉澤 均、上草貞雄、森田富士男、杉山光裕、村上忠良、小松昭英 (計 9 名)

1. 発表

総合知と行動 上草貞雄

2. 学会総会

(1) 会計報告 杉山光裕

・2012 年度 現金・貯金残高 235,748 円

・2013 年度 同 220,672 円

なお、2011 年度に開設した Wiki タイプの有料ホームページは継続しない。

(2) 学会費 3,000 円/年 (据置)

(3) 学会誌販売価格 1,500 円/冊 (値上)

ただし、会員には無償配布 (継続)

(4) 役員改選

会長 小松昭英 再任

事務局長 杉山光裕 再任

3. 今年度学会誌

(1) 統一テーマを設定する。

ただし、統一テーマ外の論文も掲載する。

(2) 現時点でのテーマ案

・「2050 年の日本の心と形」 神出瑞穂

・「日本再建」 小松昭英

引き続き議論を継続する。

以上

定例研究会覚書

2014/05/19

小松昭英（記）

日時 2014/05/17 (土)

場所 東海大学代々木キャンパス 4 号館 4 階 4408 号室

(比較文明学会・還流文明研究会合同研究会に参加)

参加者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、荒井康全、神出瑞穂、上草貞雄、松田 順、小松昭英 (計 6 名)

1.発表

資本主義の終焉と歴史の危機

日本大学国際経済学部教授 水野和夫

2. 次回定例研究会

日時 6月7日(土) 1330-1530

場所 キャンパスイノベーションセンター612号室 静岡大学東京事務所

発表

(1) 水野和夫「資本主義の終焉と歴史の危機」について

上草貞雄

芝尾紘一

(2) 今年度学会誌統一テーマについて

全員

3. 定例研究会予定

7月12日(土)

8月 なし(夏休み)

9月13日(土)

以上

定例研究会覚書

2014/06/07

小松昭英(記)

日時 2014/06/07(土)

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者 (順不同)(敬称略)

芝尾紘一、荒井康全、吉澤 均、森田富士男、村上忠良、小松昭英(計6名)

1.発表

民主主義の行方

芝尾紘一

2.書籍紹介

平川祐広、日本人に生まれて、まあよかった、新潮社、2014

モルデカイ・モーゼ(久保田政男訳)、日本人に謝りたい、日新報道、1979

(http://inri.client.jp/hexagon/floorA6F_he/a6fhe801.html)

小野和夫、資本主義の終焉と歴史の危機、集英社、2014

野口悠紀雄、変わった世界 変わらない日本、講談社、2014

藻谷浩介、里山資本主義ー日本経済は「安心の原理」で動く、角川書店、2013

3. 定例研究会予定

7月12日(土)

8月 なし(夏休み)

9月13日(土)

以上

定例研究会覚書

2014/07/15

小松昭英(記)

日時 2014/07/12(土)

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、荒井康全、吉澤 均、森田富士男、村上忠良、大河原敏男、松田 順、松尾政弘、青木一三、上草貞雄、神出瑞穂、小松昭英 (計 12 名)

1. 発表

- | | |
|----------------|------|
| (1) 公共主義社会(10) | 上草貞雄 |
| (2) エネルギー問題 | 青木一三 |

2. 書籍紹介

藻谷浩介、里山資本主義—日本経済は「安心の原理」で動く、角川書店、2013
竹村公太郎、日本史の謎は「地形」で解ける、文明・文化編、PHP 研究所、2014/07/15
中野孝次、清貧の思想、草思社、1992
佐々井信太郎、報徳生活の原理と方法—平和に生きる道、一円融合会、改版、1995

3. 定例研究会予定

- 8月 なし (夏休み)
9月 13日 (土)

以上

定例研究会覚書

2014/09/13
小松昭英 (記)

日時 2014/09/13 (土)

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、荒井康全、吉澤 均、村上忠良、松田 順、青木一三、上草貞雄、神出瑞穂、小松昭英 (計 9 名)

1. 発表

- | | |
|---|------|
| (1) システム思考での目的論理の構造と社会倫理についてⅢ | 荒井康全 |
| (2) 日本の弱体化と官僚統治の問題
メモーカザフスタン共和国 国別援助方針 | 吉澤 均 |
| (3) リスク管理からレジリエンスへ—競争力の維持と向上にむけて | 松田 順 |

2. 次回発表予定

- | | |
|----------------------------------|------------|
| (1) カザフスタン問題 | 村上忠良 |
| (2) 公共主義社会の心理学的レベル
今年度学会誌発表予定 | 上草貞雄
各位 |

2. 参考書籍紹介

古田博司、ヨーロッパ思想を読み解く—何が近代科学を生んだか、筑摩新書、20

3. 定例研究会予定

- 10月 11日 (土) 1300-1730
11月 15日 (土) 1330-1730
12月 20日 (土) 1330-1730

以上

定例研究会覚書

2014/10/11

小松昭英（記）

日時 2014/10/11（土）

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者（順不同）（敬称略）

芝尾紘一、村上忠良、青木一三、上草貞雄、小松昭英（計5名）

1. 発表

(1) 公共主義社会の心理学的レベル 上草貞雄

(2) 国際バカレリアについて 村上忠良

2. 次回発表予定

(1) 公共主義社会の心理学的レベル（つづき） 上草貞雄

(2)（未定） 荒井康全

(3) 今年度学会誌発表予定 各位

3. 定例研究会予定

11月15日（土）1330-1730

12月20日（土）1330-1730

以上

定例研究会覚書

2014/11/15

小松昭英（記）

日時 2014/11/15（土）

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者（順不同）（敬称略）

芝尾紘一、吉澤 均、青木一三、杉山光裕、上草貞雄、荒井康全、松田 順、小松昭英
（計8名）

1. 発表

(1) 公共主義社会の心理学的レベル（つづき） 上草貞雄

(2) 民主主義の行方—リベラリズムの限界 芝尾紘一

2. 次回発表予定

(1) 神のモデル 荒井康全

(2) 今年度学会誌発表予定 各自

3. 定例研究会予定

12月20日（土）1330-1730

4. その他

2013年度会計報告 杉山光裕

2013年度学会誌配布 杉山光裕

2014年度学会費納入 各自

以上

定例研究会覚書

2014/12/20

小松昭英（記）

日時 2014/12/20（土）

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者（順不同）（敬称略）

芝尾紘一、吉澤 均、青木一三、杉山光裕、上草貞雄、荒井康全、松田 順、神出瑞穂、村上忠良、小松昭英（計10名）

1. 発表

(1) 神のモデル 荒井康全
(2) 今年度学会誌発表予定 小松昭英

2. 次回発表予定

(1) 神のモデル 荒井康全
(2) 公共主義社会 上草貞雄
(3) 今年度学会誌発表予定 各自

3. 学会運営などについての決定事項

(1) 次期学会長選出: 現会長小松昭英の任期を延長する。
(2) 学会年会費: 3,000 円に値上げする。
(3) 学会誌: 論文ページ数は30ページ以下とする。
(4) 合宿: 3月に例年通り開催する。

4. その他

2014年度学会費納入 追加徴収

次回研究会 1月17日(土)
2月14日(土)
3月14日(土)

以上

定例研究会覚書

2015/01/18

小松昭英（記）

日時 2015/01/17（土）

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者（順不同）（敬称略）

芝尾紘一、荻林成章、森田富士夫、青木一三、上草貞雄、荒井康全、松田 順、神出瑞穂、小松昭英（計9名）

1. 発表

(1) 神のモデル 荒井康全
(2) 森田家の歴史 森田富士夫
(3) 近況報告 荻林成章

2. 発表予定

次回 公共主義社会 上草貞雄
次々回（研究報告） 神出瑞穂

3. 合宿研究会

(1) 日時 3月26日(木) (または、25日、26日)

(2) 場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘

(3) 予約担当 上草貞雄

4.定例研究会開催予定

次回研究会 2月14日(土)

次々回 3月14日(土)

以上

定例研究会覚書

2015/02/14

小松昭英 (記)

日時 2015/02/14 (土)

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、森田富士夫、青木一三、上草貞雄、荒井康全、松田 順、神出瑞穂、小松昭英 (計8名)

1.発表

(1) 公共主義社会

上草貞雄

2. 発表予定

次回 (研究報告)

神出瑞穂

3. 合宿研究会

(1) 日時 3月26日(木)

(2) 場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘

(3) 予約担当 上草貞雄

4.定例研究会開催予定

次回 3月14日(土)

以上

定例研究会覚書

2015/03/15

小松昭英 (記)

日時 2015/03/14 (土)

場所 キャンパスイノベーションセンター 612号室 静岡大学東京事務所

参加者 (順不同) (敬称略)

芝尾紘一、森田富士夫、青木一三、上草貞雄、荒井康全、吉澤 均、荻林成章、小松昭英 (計8名)

1.発表

(1) 科学的目的性 (客観性) について

荒井康全

(2) 戦後日本の弱体化を克服するための「日本再生の処方書」

吉澤 均

2. 合宿研究会

(1) 日時 3月26日(木)

(2) 場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘

(3) 予約担当 上草貞雄

3. 定例研究会開催予定

次回 4月11日(土)

次々回 5月9日(土)

次々々回 6月13日(土)

以上

合宿研究会覚書

2015/03/29

小松昭英 (記)

日時 2015/03/26(木)-27(金)

場所 大日本印刷鎌倉由比ガ浜荘

参加者 (順不同) (敬称略)

神出瑞穂、芝尾紘一、森田富士夫、青木一三、上草貞雄、荻林成章、松田 順、小松昭英 (計8名)

1. 発表

	発表者	論題	昼	晩	朝
1	神出瑞穂	「近代の超克」の歴史に学ぶ	○		
2	上草貞雄	多重アンビエントな日本人心理と民主制	○		
3	森田富士夫	温故知新一熊谷在の口伝・古文書を中心として	○		
4	青木一三	日本の大計	○		
5	芝尾紘一	死と生の権力		○	
6	荻林成章	エージェントベースモデルによる経済理論の検証		○	
7	松田 順	リスク管理からレジリエンスへ企業競争力の維持と向上に向けて			○
8	小松昭英	縦割り社会のミッシングリンカーエンジエコノミクス			○
		心、言葉、文字、そして知の形成			○

2. 定例研究会開催予定

次回 4月11日(土)

次々回 5月9日(土)

次々々回 6月13日(土)

追記 「総合知」にふさわしい合宿になったと思います。

参加された方々、有難うございました。

上草貞雄さん、宿の手配、有難うございました。

以上

